

授業改善等に関する報告書（2023年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2023 (後期) 美学美術史学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
デザイン実習 b	下山 肇	授業を通じて、フォーリーに対する深い理解を得られ、それがどのように価値を持つかを自分で考える力が養われたことは非常に意義深いです。皆さんが、従来の美術作品の受動的な学習から脱却し、主体的な価値創造のプロセスに取り組めたことは、今後のデザインや美術に関わるあらゆる活動において役立つでしょう。 今後は、この授業で学んだ「価値を見出す力」をさらに発展させ、様々な分野や日常生活の中で積極的に応用してみてください。 授業改善に向けては、フォーリーに関する更なる具体例の提示や、学生が自らのアイデアを実践するためのセッションを導入することで、理解を深め、創造力をさらに促進することを目指します。また、学生同士のアイデア共有の場を設けることで、互いに刺激を受け合い、新たな視点を開くことができるでしょう。
デザイン実習 c	下山 肇	本授業を通じてみなさんがPhotoshopやIllustratorの技術を習得し、デジタル作業における苦手意識を克服し、創造性を発揮して作品を完成させたことは大変心強いです。皆さんが新しいスキルを積極的に学び、実践の中で応用していく姿勢は今後のデザイン活動においても大いに役立つでしょう。引き続き多様なプロジェクトに挑戦し、学んだ技術をさらに深め、広げていくことを期待しています。 授業改善として、Adobeアプリケーションの基本機能やアートボードの使用方法など、基礎的な知識をさらに詳しく解説する機会を増やし、みなさんがより包括的な理解を得られるようにすることを目指します。また、学生同士の作品発表の機会をより多く設けることで、相互の刺激と学びが促されるように組み立てたいと思います。
デザイン入門 b	下山 肇	授業を通じて、偶然性を価値あるものと捉えるデザインプロセスの理解が深まり、計画的な制作の進め方、素材への新たな理解、そしてデザインの多様な表現方法について学んだことは、皆さんにとって大きな成果となったようです。特に、ファクツラやモダンテクニックなどの具体的な技法を通じて、発想の自由さや表現の多様性を体験できたことは、これからのデザイン活動において非常に貴重な経験になるでしょう。 今後のアドバイスとしては、この授業で学んだ無作為性の価値や素材の可能性をさらに探求し、自らのデザインプロジェクトに積極的に取り入れてみてください。また、様々なデザイン用語や技法についても、引き続き学びを深めることで、より幅広い表現が可能になります。 みなさんからの意見を踏まえて、特に楽しんだ技法や表現方法にさらにフォーカスを当て、それらを深掘りするセッションを増やしていきます。また、計画的に物事を進める力や論理的に考える力をさらに養うための機会を設けることで、デザインスキルと思考力の両方をバランスよく伸ばすことを目指します。
絵画実習 b	織田 涼子	総合的な評価は高く、各回の進行スピードはおおむね適切であったという意見を得ることができ、安心しました。短期間で作品を完成させるため、予習時間を確保して意欲的に取り組み、木版画について理解を深めるなど、自身の成長を実感できたようで大変良かったと思います。
絵画実習 c	織田 涼子	意欲的に実習に取り組み、自身の成長を実感できたことは大変良かったと思います。総合的な満足度も高く、充実した制作ができたようで安心しました。予習復習の時間を取り、材料や専門的な用具に関する理解を深められたのではないのでしょうか。シラバスの内容は、おおむね一致しているとの指摘で、材料の情報や制作時間の確保などに今後も留意したいと思います。
絵画入門 b	織田 涼子	意欲的に実習に取り組み、成長を実感できたという意見が多く何よりです。遠近法を修得し、大型モチーフを描く経験を通してデッサン力が向上したことも良かったと思います。板書や配布資料については良い評価であり、技法や作品制作への理解を深められた一方で、説明の仕方や質問のしやすさについては低い評価もあり、今後は説明が行き届くように改善したいと考えます。
絵画入門 b	織田 涼子	意欲的に実習に取り組み、成長を実感できたという意見が多く何よりです。道具の基本的な扱い方、デッサンおよび着彩の技法について理解を深めて各自の技術が向上した点、鑑賞を通して多様な発想に理解を深めた点などがあり、大変良かったと思います。板書や配布資料については良い評価でしたが、今後は聞き取りやすい声で説明できるように改善したいと思います。
西洋近代美術史演習 b	齋藤 達也	意見をいただきありがとうございました。 授業をさらに改善していきます。
西洋近代美術史特講 d	齋藤 達也	意見をいただきありがとうございました。 授業をさらに改善していきます。
西洋近代美術史入門 b	齋藤 達也	意見をいただきありがとうございました。 授業をさらに改善していきます。
西洋美術史演習 b	駒田 亜紀子	演習は、課題や発表があり大変ですが、皆さんはよく頑張ってくださいと思います。皆さんが自信を持って、安心して、4年生の卒論ゼミに進むことができるよう、演習をこれからもより良いものに工夫して行きたいと思えます。
西洋美術史特講 d	駒田 亜紀子	今期の特講の内容は、普段は実物を目にする機会がない、キリスト教美術・礼拝堂装飾でした。難しい内容ですが、皆さんが意欲的に授業に臨んでくださったおかげで、無事に進めることができました。なかなか日本で実物を目にする機会がない分野ですが、皆さんの美術に対する問題意識や興味と少しでも接続できるよう、工夫してゆきたいと思えます。
西洋美術史入門 b	駒田 亜紀子	入門bでは、皆さんに比較的馴染みのある作家や作品が多く取り上げられます。ただ授業でご紹介できる内容は限られていますので、今後は、展覧会や旅行先で見る作品と授業で取り上げた作品とが、どのように関連づけられるのか、自分自身で考えながら、学んでいただきたいと思えます。

[2023 (後期) 美学美術史学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
卒論ゼミ b	串田 紀代美	半年間、おつかれさまでした。 4年間の学びの締めくくりとして、卒業論文を1年かけて取り組み、大きな達成感を感じたのではないのでしょうか。今年は、コロナ禍にもかかわらずがんばって学びを続けたみなさんへのプレゼントとして、民俗芸能に限らず、広いテーマで卒業論文のトピックを選ぶことに賛成しました。しかし、一人ひとりの指導が、ほかのゼミと比べてきめ細やかにできなかったことが、私にとっては大きな心残りです。 それにもかかわらず、授業アンケートに回答してくださった100%の方が、この授業を通してご自身の成長を感じ、満足してくださったことを大変嬉しく思います。みなさんとこの授業で出会い一緒に学んだことは、私にとって大きな財産です。みなさんが、今後も社会でご活躍なさることを信じています。
卒論ゼミ b	駒田 亜紀子	卒論ゼミは、一對一の個人指導ですので、各人のテーマや進捗状況に合わせて、進行を調節しています。それ以外のご相談も含めて、より、個人個人にカスタマイズした授業展開を進めて行けるよう、努力していきます。
卒論ゼミ b	権原 伸博	卒論制作ご苦労様でした。卒論を書き上げた経験と達成感は、今後の社会生活でもきっと役立つと思います。また、卒論が本意であった場合は、卒論制作の時に自分が出来なかったことを、反省点として今後の生活に役立ててください。
卒論ゼミ b	馬淵 美帆	就活などで忙しい中だったと思いますが、受講者の皆さんは意欲的に取り組んでくれたと感じています。 時間が限られている中で最後まで卒論を執筆、改善する作業を続け、完成できたことは素晴らしいです。
卒論ゼミ b	児島 薫	このアンケートの質問が卒論ゼミに合致していませんから答えにくかったと思います。最終的に全員提出することができました。一年かけて長い論文を書いた経験を自信にしてください。
卒論ゼミ b	齋藤 達也	意見をいただきありがとうございました。 授業をさらに改善していきます。
卒論ゼミ b	武笠 朗	5人中2人回答。少人数なのでそこそそ双方向的な授業ができていているのだが、まだコミュニケーションが足りないように思われる。もっと個人指導を増やして、個々への対応を充実させたいと考える。また、学生の理解が、教員が思っているほどに及んでいない場合が多いので、対話を通じて改善したい。ご卒業おめでとう。
日本近代美術史演習 b	児島 薫	アンケートへの回答が少なかったのが残念です。もう少し呼びかける必要があったのかもしれませんが、もう少しコメントへのフィードバックをする時間を取れるとよかったです。少なくなってしまったのが反省点です。期末レポートについてコメントを書いて戻しましたので、確認してください。
日本近代美術史入門 b	児島 薫	必修授業ではありませんでしたが、ほとんどの方が履修し、最後までしっかり学んでくれたのでこちらも手応えがありました。画像でお見せした作品は、東京国立近代美術館、東京都現代美術館などが所蔵するものが多いので、ぜひこれらの美術館に行き、特に所蔵品の展示室をのぞいてください。東京都現代美術館は毎回詳しいリーフレットを無料配布しています。アーティゾン美術館も学生さんは無料なので、ぜひ春休み中見に行ってください。
日本美術史演習 b	馬淵 美帆	授業アンケートの回答率は低かったのですが、その範囲では、受講者の方におおむね満足していただけたようでよかったです。自分で発表を組み立てて行うことや、他の人の発表にコメントすることは社会に出てからも役立つ重要なスキルですので、今後も意識的に取り組んでいって下さい。
日本美術史特講 d	馬淵 美帆	オンデマンドの授業で受講しにくい点もあったかと思いますが、毎回の課題など、受講者の皆さんはとてよく書いて下さっていたと感じます。受講上の希望や質問をすぐに受けにくく、不満を感じた方もおられたことと思います。皆さんからいただいた回答を元に、今後のオンデマンド授業の方法を工夫していきます。
日本美術史入門 b	馬淵 美帆	入門bの授業は情報量も多く、大変に感じた方もいたことと思います。この授業の内容は、入門aと同様、今後美術史を学ぶ上での基礎となるので、資料を見返したり図書館の本で復習するなどを積極的に行っていただきたいと思っています。 授業中は、この授業に限らず、自主的にメモを取ることを心掛けて下さい。
入門演習	串田 紀代美	半年間、お疲れさまでした。 1年生にとって、大学生にふさわしいレポートの書き方は、ルールがたくさんあって、大変わかりにくかったと思います。けれども、最後まであきらめず、ひとつひとつ最後まで授業動画を視聴し、課題を毎回提出して下さり、あらためてお礼申し上げます。 後期の授業アンケートからは、回答してくださった100%の方がご自身の成長を実感し、総合的に授業に満足してくださったことがわかりました。みなさんが、毎回の授業で少しずつ成長し続けたということは、担当教員にとって一番嬉しいことですが、ひとえにみなさん自身が最後まで学び続けた結果が、この数字に反映したと思っています。私も、みなさんから学ぶことが非常に多かった半年間でした。国語力はみなさんの人生を助けてくれる武器になります。これからも、それを信じて素敵な言葉の使い手になってくださることを願っています。

[2023 (後期) 美学美術史学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
入門演習	結城 佐織	皆さま、半年間お疲れさまでした。初めて実践女子大学で授業をしたのですが、皆さんとても熱心に授業を受けてくださったのでとても楽しく、私自身も学ぶことが多かったです。アンケートにもお答えくださりありがとうございました。4時間目の授業では、アンケートに答えてくれた学生の100%が、自分の成長を実感できた、総合的に判断してこの授業に満足したと答えてくれました。初めての論証型レポートの書き方でいろいろと迷うこと、わからないこともあったと思いますが、この授業の成果を卒論で発揮してください。皆様の今後の成長とご活躍を心よりお祈りしています。
美学演習 b	椎原 伸博	アンケートの意見が少なかったのですが、達成度が高い結果となっています。グループ学習中心で、共同発表を多くやりましたが、そのなかで卒論を書くノウハウも蓄積していったと思います。それぞれの興味から、それぞれの卒論ゼミに分かれていきますが、是非美学演習で培った検索力、考察力を卒論に活かしてください。
美学特講 d	椎原 伸博	アンケートでは、ワーグナーとニーチェの感想がめだちました。オペラの歴史は、哲学的な問題と（当然美学も含めて）表裏一体であったことをここで考える必要があります。そして、せっかくオペラに歴史、美学を学んだのですから、実際に劇場に足を運び、実演を鑑賞してください。人間の声の素晴らしさ、劇場空間でのドラマの展開の素晴らしさ、総合芸術としてのオペラの奥深さを知ることが出来ると思います。
美学入門 b	椎原 伸博	アンケート結果みました。対面授業時のワークショップがためになったという意見が目立ちました。美学は難しい学問ですが、日常生活のなかで美しいことについて、あるいは芸術作品について、意見を交換することで、なぜ私たちは美や芸術の価値を共有できるのか？という問題意識が高まると思います。是非、美学特講などの授業で、その問題意識を高めていってください。
仏教美術史演習 b	武笠 朗	14名中1名のみ回答。アンケートへの回答を促さなかったことによるが、あまりこのアンケートに意義を見出せないでいることも事実。後半の研究発表はかなり上手にできるようになった。ただ、発表の時に、時間の関係で学生相互の意見交換が十分にできないのは問題で、今後もう少し工夫してみたい。少人数なので双方向性を高めて、学生指導に当たりたいと考える。個人指導の時間を増やしたい。
仏教美術史特講 d	武笠 朗	アンケートの回答は7名で回答率が低かったのは、またしても回答を促すのを忘れたためで、深く反省している。人数が少ないので、おもしろい、聴いてもらえる授業を心がけているが、苦戦している。話にメリハリを付け、わかりやすいオチのある話に仕立てられるかがポイントで、今後の課題となろう。シラバス通りに授業が進まなかったことも反省している。引き続き、予習復習はまあよいかから、授業に集中して聴いて欲しい。
仏教美術史入門 b	武笠 朗	今回のアンケートは32人の回答で、約30%の回答率にとどまったのは、またしても回答を促すのを忘れたためで、大いに反省をしている。前期aと同様、なかなか学生の理解が及んでおらず、授業中の用語などに解説を加えるなど工夫を凝らしてみたい。また講義形科目として授業の双方向性は依然として課題だが、学生諸君は、わからないことがあったらmanaba等ですぐに伝えてください。解説したいと思います。それから、来年度から紙媒体の資料が配付できなくなるので、その対応が大きな課題となる。
民俗芸能演習 b	串田 紀代美	半年間、お疲れさまでした。 今年度は、昨年と同様に30名近い履修者と一緒に「演習」に取り組みました。発表では、一人ひとりの興味が違うことに、毎回驚かれたのではないかと思います。なぜ、演習の発表のテーマを「民俗芸能」だけにしなかったかといえば、民俗学は私たちの日常の中にある身近なものを研究する学問だからです。芸能はパフォーマンス、つまり「行為」と言い換えることができます。そう考えると、「民俗芸能」はかなり広く解釈することができます。日々の生活の中の素朴な疑問から、みなさんが発表テーマを見つけて、それについてじっくり考えることが、本授業の狙いなのです。 授業アンケートの回答率は、昨年度と比較すると少なかったのですが、それでも回答してくださった100%の方が、授業を通してご自身の成長を感じ、授業に満足してくださったことがわかりました。これは、担当教員として大変嬉しい結果です。 民俗学・民俗芸能は、みなさんの身近にある分野です。みなさん一人ひとりがご自分の能力を信じ、今まで誰も気が付かなかった新しい民俗学の「種」を発見してくださることを信じています。
民俗芸能特講 d	串田 紀代美	半年間、お疲れさまでした。 今年度は、民俗芸能に特化した授業内容でした。あらためて民俗芸能が現代社会でおかれている現実を、目の当たりにしたのではないのでしょうか。特講は、演習に続く重要な授業です。そのため、中間テストでは文章記述の問題でみなさんの国語力を確認しました。一方、学期末課題では、学力テストでは測れない皆さんの底力を見るために、ポスターを作成していただきました。これが見事な出来栄で、正直圧倒されました。みなさんが提出していただいた課題は一つとして同じものはなく、それぞれの個性と工夫と知識とスキルが詰まっており、人間の能力は学力テストという一つのものさしでは測れないことを実感しました。 授業アンケートでは、回答してくださった96%の方が、授業を通してご自身の成長を感じ、100%の方が授業に満足してくださったことがわかりました。これは、担当教員として大変嬉しい結果です。 民俗学・民俗芸能は、みなさんの身近にある分野です。どんな小さなことでも、研究テーマになる可能性を秘めています。みなさん一人ひとりがご自分の能力を信じ、今まで誰も気が付かなかった新しい研究の種を発見してくださることを期待しています。

[2023 (後期) 美学美術史学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
民俗芸能入門b	串田 紀代美	<p>半年間、お疲れさまでした。 オンデマンド型授業は、1年生にとってさぞ学習の継続が難しかっただろうと思いますが、最後まで授業動画を視聴し、課題を毎回提出していただき、あらためてお礼申し上げます。 後期の授業アンケートでは、回答して下さった94.3%の方が成長を実感し、総合的に授業に満足して下さったことがわかりました。みなさんが、毎回の授業で少しずつ成長し続けたということは、担当教員にとって一番嬉しいことです。 民俗学や民俗芸能は、みなさんの日々の生活の中にそっと寄り添ってくれる分野です。みなさんが思っている以上に、この分野のテーマは多いので、これからも日々、関心を持ってくだされば嬉しいです。民俗学・民俗芸能が、みなさんの人生に少しでも彩りを与えてくれたら嬉しいです。</p>